



たけおクリニック通信



院長 竹尾浩紀からご挨拶

4月になりました。

新しい年度の始まりです。お正月とは異なり、本当に新しいことが始められる時期です。

さて、「新しい」という繋がりで、今回は新しい糖尿病の薬を紹介します。それは、SGLT2阻害薬という新しい働き薬です。「血の中のブドウ糖をお小水の中に捨てる」という働きで血糖値を下げるものです。本来は病気の一症状として「尿に糖が出るのが糖尿病」ですから、その点を利用したことによるものです。ですからこの薬はある意味今までとは全く違う発想のものと言えます。そしてある意味、「栄養分を捨てる」ということを行うことにより、体重も減ってしまいます。ちなみに健康な人でもその効果はあるようですが、勿論医薬品ですので糖尿病の人にしか使えません。ご了承ください。

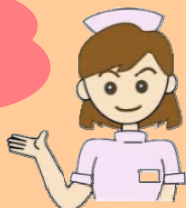
今年、それ以外にもリパーゼ阻害薬という脂肪吸収を防ぐ薬も発売されます。また、機会があればご紹介させていただきます。

当院も4年目となりました。これも皆様のおかげと感謝しております。初心を忘れずこれからも従業員一同努力を重ねてまいりますので、ご指導よろしく申し上げます。

熱が出て扁桃腺が腫れる風邪といつもより少し優しい花粉症が続いています。体調に注意され、無理なくお過ごしください。

4月は入学式入社式

新しいスタートの季節です！



4月ですね。新入社員や新入学生などをあちこちで見かけます。日本では4月に入学するのが当たり前ですが、これは日本独自の文化のようです。例をあげると

1月=シンガポール

3月=韓国

5月=タイ

9月=アメリカ、カナダ、イギリス、中国のようです。

みなさんがよく知っている寺子屋は特に入学の時期が定められておらず、いつでも入学ができました。その後、明治時代に西洋の教育が導入され高等教育では9月入学が主流となりました。しかし、富岡強兵政策により、軍隊の入隊時期が4月となったため、小学校などの入学時期が4月になったと言われています。

春はなぜ眠いのか??

を調べてみました!!

まず一つとして考えられるのが、春は日が長くなるので、活動時間が長くなり、結果的に就寝時間も遅くなって睡眠不足になってしまうのです。次に、暖かくなって身体の各器官の動きが活発化すると、糖質や脂質から盛んにエネルギーを作る必要があります。エネルギー変換の際にはビタミンB群などが大量に消費され、こうした栄養素の不足が春の眠気を招いているといわれています。眠気を感じる時期は、最低気温6度から15度ぐらいの時期であるとしています。この気温は東日本や西日本の太平洋側では3月末から5月の中旬に当たり、ちょうど年度が変わる時期から連休明けの時期なので、環境の変化による心労や、また連休で遊び疲れた結果、眠くなるということも考えられるのではないのでしょうか？



ありがとう

最後までお読みいただきありがとうございます。これからも発刊を頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。第35号もお楽しみに！

2014年4月発行 第34号

たけおクリニック 院長 竹尾 浩紀
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-22-7 森住ビル 3F
TEL: 03-5433-3255 FAX: 03-5433-3256
HP: <http://www.takeo-clinic.com/>

